

1



CREMASTER 3, 2002  
Photo Chris Winget  
©Matthew Barney, courtesy Gladstone Gallery,  
New York and Brussels

## 映画の極意vol.18

### バイオ・バロック： 「生命の変容」をめぐる映画祭

金沢21世紀美術館は、11月17日(金)から19日(日)までの3日間、「バイオ・バロック(生命の過剰さと歪み)」をテーマに、これまでになく斬新な映画祭を開催します。

上映するのは、国内では11年ぶりとなるマシュー・バーニー『クレマスター』サイクル全5作や、サスキア・オールドウォーバースの全作品(国内初上映)、福島の問題を取り上げたキム・ギドク『STOP』(北陸初上映)、世界最大の国際科学芸術賞「アルス・エレクトロニカ賞」の『STARTS PRIZE』で、今年、グランプリを受賞した音楽家やくしまるえつこによる映像作品選など。この映画祭を逃せばいつ見られるかわからない貴重な作品ばかりをセレクトしました。

事前告知やご取材のご協力を賜りますと幸いです。

## 映画館やネット配信では見られない、 美術館ならではのラインナップでお届けする現代アートの映画祭

イベント名	映画の極意 vol.18 バイオ・バロック:「生命の変容」をめぐる映画祭
期間	2017年11月17日(金)~19日(日)
時間	17日(金)19:00~、18日(土)10:00~、19日(日)10:00~
会場	金沢21世紀美術館 シアター21
料金	1回鑑賞券 一般1,000円~1,900円 / 友の会 900~1,700円(作品により異なる)、 セット券(マシュー・バーニー全作品) 一般 6,000円/友の会 5,400円、 3日間フリーパス 一般8,000円 / 友の会7,200円 ※セット券、フリーパスは前売券のみの販売
チケット取扱	オンラインチケット:LivePocket(ライブポケット) <a href="https://t.livepocket.jp/e/biobaroque">https://t.livepocket.jp/e/biobaroque</a>
主催	金沢21世紀美術館[(公財)金沢芸術創造財団]
提供	トモ・スズキ・ジャパン、Marian Goodman Gallery、TARO NASU、みらいレコーズ、 Kim Kiduk Film / Allen Ai Film
協力	Japan Society(New York)
後援	在日 アメリカ大使館
WEB	<a href="https://www.kanazawa21.jp/data_list.php?g=69&amp;d=1816">https://www.kanazawa21.jp/data_list.php?g=69&amp;d=1816</a>
お問合せ	金沢21世紀美術館 交流課 TEL 076-220-2811

本資料に関するお問合せ

金沢21世紀美術館 事業担当: 高橋洋介 広報担当: 川守慶之  
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1  
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802  
<http://www.kanazawa21.jp> E-mail: [press@kanazawa21.jp](mailto:press@kanazawa21.jp)



## 概要

映画の極意 vol.18は、「バイオ・パロック (生命の過剰さと歪み)」をテーマに、現代アートで国際的に活躍する3作家の映像表現に焦点を当てます。当館所蔵作家で世界的な評価を得るマシュー・バーニーの、国内では10年以上公開されていない『クレマスタール』サイクル全5作やアイスランドの歌姫ビョークとのコラボレーションで話題を呼んだ『拘束のドロイング9』の一挙上映を行うほか、緻密に練り上げられたSF的な物語と実写とは思えないまでの映像表現でカルト的な人気を誇るサスキア・オールドウォーバースの国内初の全作品上映、国際的な評価が高まるピエール・ユイグの実験的な映像作品などをまとめて紹介します。

また、金沢21世紀美術館で開催中の「コレクション展2『死なない命』」と関連させて、福島の問題を取り上げて国際的な物議を醸し、日本では公開できないと言われてきたキム・ギドク『STOP』、同展でDNA音楽《わたしは人類》を出品中のやくしまるえつこの映像作品の特別上映も行います。この貴重な機会をぜひお見逃しなく！

## 映画の極意とは

「映画の極意」シリーズは、金沢21世紀美術館シアター 21を会場に、政治、社会、哲学、生と死、消費文化、人間の不条理、遊び、時代と娯楽、映像美といったテーマごとにセレクトした作品の上映を行う企画です。

## 上映スケジュール

## 11/17 (金)

19:00 サスキア・オールドウォーバース

最新作、日本未公開作を含む全9作品の上映(1999-2017 / 120分)

## 11/18 (土)

10:00 マシュー・バーニー『クレマスタール1』(40分)

10:55 マシュー・バーニー『クレマスタール2』(79分)

13:15 マシュー・バーニー『クレマスタール3』(182分)※途中15分の休憩

16:50 マシュー・バーニー『クレマスタール4』(42分)

17:50 マシュー・バーニー『クレマスタール5』(54分)

19:10 マシュー・バーニー『拘束のドロイング9』(135分)

## 11/19 (日)

10:00 ピエール・ユイグ『短編作品選』(1999-2014 / 全5作品 / 75分)

12:45 ピエール・ユイグ『The Host and The Cloud』(2009-2010 / 122分)

15:05 キム・ギドク『STOP』(2015 / 82分)

17:00 やくしまるえつこ『映像作品選』(2008-2017 / 120分 / わたしは人類) ライブ映像を含む)

※開場時間は上映開始の15分前  
 ※都合により上映内容など変更になる場合がございます。



2

©Kim Ki-duk, 2015

## 『クレマスター』サイクル

マシュー・バーニー

20代半ばにしてサンフランシスコ近代美術館、カルティエ財団、テート美術館で次々と個展を行い、一躍アート界の寵児となったアメリカのアーティスト、マシュー・バーニーが今から15年前に完成させた『クレマスター』シリーズは、現代アートの映像表現における伝説的な作品として今なお語り継がれている。

シリーズは5作品から構成されており、各作品につき、一つの都市が舞台に選ばれ、想像上のキャラクターが意味深い物語を展開する。クレマスターの中にはバーニーの制作した彫刻が要所要所に登場するほか、バーニー自身もシリコンなどを用いた特殊メイクで自身の肉体を造形して登場する。彼にとっては、自身の肉体やそれを取り巻く空間も作品の一部であり、作品はその変容の過程を記録した映像ともいえる医学、スポーツ、アートを背景にした重層的な作品で、プラダやカルティエなどと共同制作したファッションも見所の一つ。ほとんどセリフがなく、クローネンバーグやデヴィッド・リンチに比する不条理な世界が創り上げられている。そもそも「クレマスター」とは睾丸につながる腱をつつみ、温度によって伸びたり縮んだりする筋肉のこと。母体内の胎児が未分化で性別が確定する前に形成され、卵巣と陰囊の間にある可変的な中間地帯であることから、性の曖昧さや未分化というテーマを通奏低音として持つこのシリーズのタイトルに用いられている。

全5作の作品番号と制作順は一致せず、最初に発表したのが『クレマスター 4』で、最後が『クレマスター 3』。最終作の『クレマスター 3』が完成するまでに8年の年月を要し、随時発表されてきたが、上映が1都市2作品まで(各1回上映)と厳格に管理されており、しかも、商業的な映画とは違い、DVD化は一切せず、映画館でも上映されず、あくまで展覧会の中で、アート作品としてのみ上映されてきたため、世界的に大きな話題を呼んだわりに実際に鑑賞した人数が少なかった。日本で最後にまとめて公開されたのは2006年。10年以上のときを経て、改めてその謎に満ちた作品の全貌を紹介する。

3



CREMASTER 1, 1995  
Photo Michael James O' Brien  
©Matthew Barney, courtesy Gladstone Gallery,  
New York and Brussels



4

CREMASTER 4, 1994  
Photo Michael James O' Brien  
©Matthew Barney, courtesy Gladstone Gallery,  
New York and Brussels

## 主な上映作品

## 『プラシーボ』

サスキア・オールドウォーバース

ロンドンを拠点に活躍するオランダ人作家、サスキア・オールドウォーバースの映像作品では、人が全く登場しない無機質な風景の中、近未来の「入り組んだ物語」が一人称で語られ展開する。「新聞や実体験を少しずつ積み上げ、1~2年かけて作品を練り上げます。イメージはCGのように見えますが、ミニチュア模型をつくって、水中で撮影します。」とサスキアは言う。丹念に作品を制作するため、これまでに9作品しか発表していない。どの作品も、表裏一体である虚実を操りながら、現実、認識、想像とは何かを問いかける。

2002年に制作された『プラシーボ (偽薬)』の物語は、語り部である主人公の女性の言葉で始まる。何もかもが白い病室が映される中、主人公が外科医である愛人と無理心中を試み、車で衝突事故を起こしたことが明かされる。主人公は一日のわずかしか覚醒できない状態で病室に身を横たえている。意識がもうろうとした中で、彼女は愛人の真実を知る。他に妻がいるはずの愛人に妻はなく、外科医でもなかった。愛人の哀しい嘘の手がかりを手繰り寄せながら、彼女は自分が愛していたのは虚構の人格であったことを悟る。病室は海底に沈んでいく船の中のように、流れ去っていき、白い壁も家具も全て、白い血を流すようにゆっくりと消えて行く。真実だと信じていた世界は存在せず、全てが崩れ、流れ去ってしまう。その美しくも悲しい映像美、一人称の語り魔法をかけるように観客を物語に引き込むだろう。

5



Saskia Olde Wolbers  
Placebo  
2002  
Voice over Sukie Smith, 6 min loop  
Single Channel Video Projection  
SD PAL DV 4:3 Stereo  
Installation dimensions variable

6



Yes, These Eyes are the Windows 2015  
Voice over Torn Brooke  
18 min HD video for projection

## 料金

## ●1回鑑賞券 A

- ・『クレマスター 1』
- ・『クレマスター 4』
- ・『クレマスター 5』
- ・ピエール・ユイグ『短編作品選』
- ・『STOP』

各回 一般 1,000円/友の会 900円

## ●1回鑑賞券 C

『クレマスター 3』

一般 1,900円/友の会 1,700円

## ●3日間フリーパス

一般 8,000円/友の会 7,200円

## ●1回鑑賞券 B

- ・サスキア・オールドウォーバース『全作品上映』
- ・『クレマスター 2』
- ・『拘束のドロイング 9』
- ・『The Host and The Cloud』
- ・やくしまるえつこ『映像作品選』

各回 一般 1,500円/友の会 1,350円

## ●セット券 (限定販売)

マシュー・バーニー全作品鑑賞券

一般 6,000円/友の会 5,400円

※友の会会員の方は入場時に要会員証提示。

※セット券、フリーパスは前売りのみの販売となります。

※前売券で定員に達した場合は、当日券の販売はありません。

前売券は、オンラインチケット・ライブポケットのみの取扱い  
<https://t.livepocket.jp/e/biobaroque>

## 広報用画像

画像1～8を広報用にご提供いたします。

ご希望の方は下記をお読みの上、広報室へお申し込みください。

画像お申し込みフォーム [https://www.kanazawa21.jp/form/press\\_image/](https://www.kanazawa21.jp/form/press_image/)

## [使用条件]

※広報用画像の掲載には各画像のキャプションとクレジットの明記が必要です。

※トリミングはご遠慮ください。作品が切れたりキャプション等の文字が画像にかぶったりしないよう、レイアウトにご配慮ください。

※情報確認のため、お手数ですが校正紙を広報室へお送りください。

※アーカイブのため、後日、掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVD、CDなどをお送りください。以上、ご理解・ご協力のほど、何とぞよろしくお願いいたします。

7



Pierre Huyghe  
 One Million Kingdoms, 2001  
 Animated film, approximately 6 minutes  
 Courtesy of the artist and the Marian  
 Goodman Gallery, New York

8



相対性理論「ケルベロス」  
 ©YAKUSHIMARU Etsko